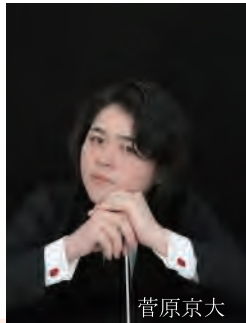




花崎碧土



Quartet Ruminoa



菅原京大

医療的ケア児を応援するチャリティーコンサート

弦楽四重奏の愉しみ

ルミノア・クアルテットが織りなす音楽と言葉の世界

演奏 Quartet Ruminoa

Violin 菊池美羽 / 大島みなみ (新潟市出身)

Viola 斎京法子 (上越市出身) / Cello 望月まり子

Program

弦楽四重奏曲第77番「皇帝」

ハイドゥン作曲

朗読とクアルテットによる世界初演曲

「生まれる」

花崎碧土作詩

菅原京大作曲

朗読：秋山瑠希

金子ゆず

※県立高田高等学校2年

弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」

シューベルト作曲

2026

3. 7

sat. 14:00開演 (13:30開場)

上越文化会館 中ホール

上越市新光町1-9-10 Tel/025-522-8800

一般 ¥2,000 (当日500円増し) 高校生以下 ¥1,000 (全席自由・小中学生無料)

※定員に達した場合当日券の販売はありません

【お問合せ】UNISONクリエイト Tel/025-530-8013・mail/unisoncreate@gmail.com

【チケット取扱い】 上越文化会館・二葉楽器

主催：医療的ケア児を応援するチャリティーコンサート実行委員会

企画協力：UNISONクリエイト

協力：竹灯籠・煌めく雁木の街プロジェクト実行委員会

後援：上越市教育委員会

弦楽四重奏の愉しみ

ルミノア・クアルテットが織りなす音楽と言葉の世界

PROFILE



Quartet Ruminoa

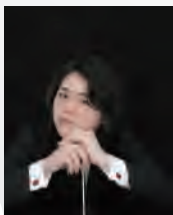
(クアルテット・ルミノア)

桐朋学園大学に学ぶ学生による弦楽四重奏団。磯村和英 (Viola: 東京クアルテット創設メンバー、イエール大学音楽院教授)、山崎伸子 (Cello: 桐朋学園大学特任教授、東京藝術大学名誉教授) に指導を受けている。

Violin 菊池美羽 / 大島みなみ (新潟市出身)

Viola 斎京法子 (上越市出身) / Cello 望月まり子

Ruminoaはメンバーの名前のアルファベットのアナグラムで4人の音が融和して溶け合い、一つの響きになるように願って命名されている。



菅原京大 Keita Sugawara

宮城県仙台市出身。幼少よりヴァイオリンとピアノを学び、現在、桐朋学園大学指揮科4年に在学し指揮の研鑽を重ねつつ作曲家としても活動中。代表作に《退廃に吞まれた白羊》、幻想と残香を主題とした《幻想組曲 ― 我が芳春の幻想に蝶が漂う》がある。小説や詩作にも取り組み、言葉と音楽を横断する表現を追求しており、その延長として現代オペラ〈夢劇「レーヴェ」〉を制作中。音と言葉の双方から独自の世界観を築く創作者。



花崎碧士 Aoshi Hanazaki

(朗読組曲『生まれる』の作詩者)

上越特別支援学校高等部卒業後、医療的ケア児としての体験を基に地域で障害の有無にかかわらず互いが協力して人生を楽しむことができる社会の実現を目指して講演活動などを行っている。作詩やデザイン制作を得意とし作品をSNS等で発表している。